

ふりがえりシートより…今回のワークショップで感じたことをまとめました

あなたが今日気づいたことは？

- ★話し合えば話し合うほど難しくなってきました。でも、素晴らしい市ができるというと思う。
- ★合併は環境だけを整えても難しいのでは？住民の思考を変える何かがないと。
- ★8市町村は広いと言うこと。
- ★地図を見てみると長岡周辺に固まりがあることに気づきました。長岡市に遠い地域に何も無い。
- ★こんなになごやかに充実し、生産性の高い日になるとは思わなかった。まさに「転」の日だ。(スタッフ)
- ★グループの中で各人の視点のすばらしさを感じた。
- ★地域の大切なこと、大事にしたいことが出そろった。
- ★前回の打合せから日数が経過していると前回までの打合せで内容を思い出すまで時間がかかる。

あなたが今日うれしく思ったこと、満足したことは？

- ★グループのリラックスした雰囲気、回を重ねるごとにうれしく思います。
- ★メンバー全員が真剣。
- ★ワークショップに参加して、目からウロコ状態を味わうことがうれしい。
- ★未来の種について多くの意見が出てそれぞれたくさんのお話が聞けて良かった。
- ★個別の話も良いが全体的な話し合いも良いと感じた。
- ★方向・まとめ方が見えてきたように思う。
- ★充分話し合える時間があつた。

あなたが今日不満に思ったこと、悲しかったことは？

- ★思うような展開にいけなかった。(スタッフ)
- ★テーマが広すぎて何を重点に考えればよいか分からない。
- ★欠席者が多いことです。
- ★2時間時間短く感じた。
- ★1人ずつ個別に話をした方が良い。いったん話を切るという意味でも。続けると話がどんどん飛んでいってしまう。
- ★私達大人の意識を変えることは難しいなと思う。
- ★周囲の班の声がうるさくて話が聞き取りにくかった。(7班一部屋は詰め込み過ぎかな)(スタッフ)

あなたが今日言い残したことは？

- ★未来の種、小国の福祉行政のすばらしさを引き継いでいただきたいです。
- ★もっと具体的に話を進めたい。
- ★難しい。19日に何とかまとめましょう。
- ★地元の産物・加工品・名所いっぱいあるのにいかにしてアピールするか。
- ★あんまり参加できてなかったかな
- ★新市での各地域(今の各市町村)の役割について考えてらっしゃる方が多いようですが、新市としてのビジョンを考えると、むしろ新市全体としての県や国や世界での役割を考えた方が、バラバラにならず、イメージしやすいと思います。

その他

- ★むずかしい。何も求めない自分がある
- ★次回、遠くの地でのワーク。恐ろしい、楽しみ
- ★もう一回ふえたのは良かったかな。時間的には厳しいけれど
- ★サンドイッチばかりですので、たまにはお米の消費拡大におにぎりにしよう！
- ★今日は発展的な意見が多く、前進が見られた。前進のためには多少の犠牲も仕方ないかな
- ★グループで話し合った内容のコピー等がもらえると良い。

発行・お問い合わせ:長岡地域任意合併協議会事務局

長岡市幸町2-1-1 長岡市役所内

Tel. 0258-35-1122(代表) 0258-39-2260, 2227(直通) Fax. 0258-39-2254

第3回ワークショップの様子

日時:平成15年5月13日 19:00~21:00

場所:長岡市役所大会議室/37名参加

提案してほしい内容
 合併したらどう
 いう地域にし
 たいか。参加者同
 士が共有できる
 テーマについて
 提案する。



当日の流れ
 今回ははじまりから最後までグループごとで前回から引き続き話し合いを行いました。



コップの中はお茶です

グループごとの話し合いの概要

グループ1

- 未来の種を見つけよう
- まち-むら 交流がある
 - 安心、安全新しい農業の取り組み
 - 命を育み、命のつながりと一緒に育つ
 - 長岡に市民活動の拠点が、コーディネートできる人が育つ
 - 枠を取ることでこれまでと違う関係づくりができる など

次回はどの枠を取り除き、どの枠を残すか考える

グループ2

- 地域の個性が活かされるまちにするために
- 各地域の声を反映させるため選挙区を設ける
 - お互いの地域を知るために子供達の地域内留学(ホームステイ)
 - 地域の動きを情報発信する仕組み、テレビ局(NPO)など
 - 長岡花火の観客を長く地域にとどませ地域の観光振興に活かす

次回は各地域で伸ばしたいもの、残したいものを考える

グループ3

- 宝物をどうつなげる
- らしさを残すことが大事(町名・ブランド)
 - 共存共栄ができるまちの連携
 - 現在のまちに足りないもの何があるべきかを考えて、足りないものを補っていく
 - 良いものをどうやって残すのかという発想が必要
- 各地域の役割分担を考える

グループ4

- 共有財産作り・こんなまちにしたい
- 環境との調和(人が多く来ると環境がだめになる)
 - 循環型地域(稼ぎとの両立)
 - 雪を楽しむ要素にする
 - 地域の特色をより濃くしたい
 - みんなに優しい街
 - 老後の楽しみがあるまち など

プログラム

- 19:00 開会・前回のふりがえり
- 19:05 今回と次回のワークショップの進め方について
- 19:10 テーブル討議
- 20:55 ふりがえりシートの記入
- 21:00 閉会

長岡地域
まちづくり
ワークショップ

第3号:地域全体のイメージが見えてきました

かわら版

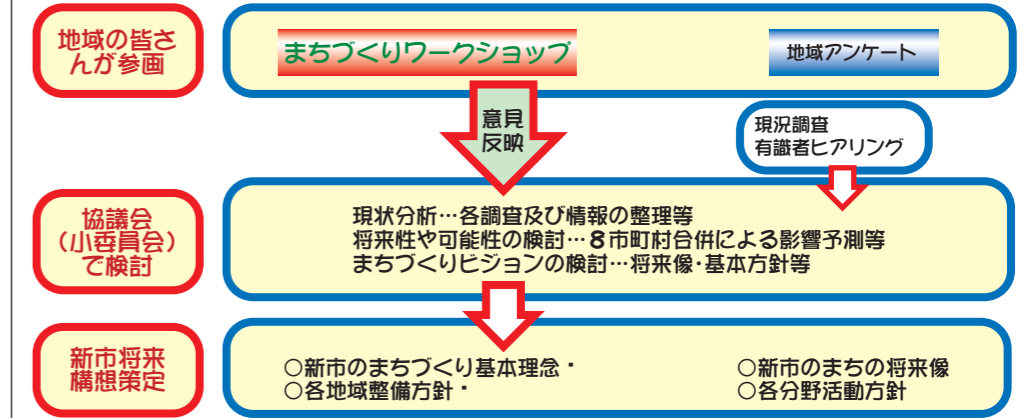
ワークショップのあらまし

平成15年1月に、長岡市・見附市・栃尾市・中之島町・越路町・二島町・山古志村・小国町の8市町村により、「長岡地域任意合併協議会」が発足しました。現在、8市町村の代表が、長岡地域の広域合併に向けて、さまざまな協議を進めています。

その中に、合併した場合の8市町村の目指すべき将来像を「新市将来構想」として定める作業があります。

「新市将来構想」を定めるにあたり、まちづくりの方向性や地域の将来像について地域の皆さんの意見・要望を反映させるために、地域の皆さんの意向を探る「地域アンケート」の他、「まちの将来像を地域の皆さん同士で話し合って、提案してもらおう」目的で、「まちづくりワークショップ」を行うことになりました。

新市将来構想策定の流れ



ワークショップの流れ

- 今回は、参加者自身が進め方を考え、7つのグループ独自の手法で長岡地域の将来像を提案するという新たな試みで行っております。
- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 第1回(4/17) | ●ワークショップのテーマ・進め方の検討 |
| 第2回(5/2) | ●地域の宝物・自慢・個性さがし
●新しい地域の姿・イメージ |
| 第3回(5/13) | ●地域の素材をどうつなげるか
●こんなまちにしたい |
| 第4回(5/21) | ●まとめと結果発表(予定) |
- ※予定していた4回以外にも、グループでの話し合いが行われました。

グループ5

- 第2回ワークショップで出されたまちづくりのキーワードの整理をした。大きなテーマを「いろいろな“わ”～輪・和・環・我・Wa!・・・」として“わ”をつくるためにできることを話し合った。“わ”をつくっていくもの
- 自然
 - 人
 - 文化
 - 産業
- など

グループ6

- 老人が元気に活躍し、暮らしやすいまち各人が発表
- 自分が市長になったら
 - 8市町村いっしょになって何が出来るか
 - 一番大切なもの
- 特徴的な意見としては「昔のいいところを受けついで」「ユニバーサルデザインに配慮する」「学のあるまちにしたい」など
- 次回は全体のまとめをする

グループ7

- 大切なもの・ありたい姿を話し合った
- 老人資源の活用
 - 地域の一体感
 - 住民エネルギー
 - 自然との共生
 - 今の地域資源を活用する
 - 共有化による施設充実
- など



話し合いをちょっと中断して他班討議内容を見えています。